

提案概要

資料 4

大項目	中項目	評価の視点	提案内容
1 全体方針（25点）	事業コンセプト（15点） （様式 A-1）	<ul style="list-style-type: none"> 「入間市新庁舎等整備実施計画」に示す施設整備のコンセプトを踏まえた施設整備、維持管理・運営の基本的な考え方が明確に示されている、かつその根拠が明確に示されているか。 中長期的な本市の公共施設マネジメントにとって有効なコンセプトが具体的な取組や根拠とともに示されているか。 	<p>【事業コンセプト】誰もが気軽に立ち寄り、集う、新市庁舎『いるまりビング』</p> <p>【施設コンセプトを実現する指針】</p> <ol style="list-style-type: none"> だれもが気軽に立ち寄る場づくり 敷地全体に広がる交流スペース 交流・協働を促す多様なプログラム <p>【指針を実現する工夫】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①無駄のない「コンパクト」な事業計画 ②市民協働棟を既存 C 棟まで拡張 ③LCC に優れ公共施設マネジメントに有効な計画（30 年後の C 棟解体コストの圧縮） <p>【施設整備方針を具現化する提案】</p> <p>（各コンセプトに対し、具現化する提案を記載）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様な市民活動の場がある庁舎 ②免震構造 & ZEB Ready の庁舎 ③十分な DX サポートのある庁舎 ④フリーアドレスで働きやすい庁舎 ⑤100 年使い続けられる庁舎（耐久性の高い躯体構造、施設管理支援システム） ⑥市民要望に柔軟に対応する庁舎（設計・施工 BIM データを活用した維持管理システム） <p>※下線 = 公共施設マネジメントに関わる提案</p>
	実施体制・実績（10点） （様式 A-2）	<ul style="list-style-type: none"> 業務の確実な遂行、事業の安定性の確保に資する実施体制上の工夫があるか。 本事業の参考となる特筆す 	<p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ 10 社のうち、4 社が市内企業 設計から運営まで建設企業 A とグループ企業が一气通貫の体制で継続支援 設計施工一括チームによる精度の高いコスト管理（※様式 F-9 の記載）

		べき実績等があるか。	<p>【類似する事業の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計企業 B は国内 170 件以上の庁舎設計実績（うち 3 件が ZEB Ready 認証） 代表企業・各構成企業それぞれに庁舎の設計・施工、維持管理実績あり（代表企業は PFI による庁舎整備の実績あり） <p>【業務体制・配置予定者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務ごとに「事業者定例会議」を開催 統括管理技術者及び各業務の責任者について、個人名・資格・実績を提示 設計チームは全員が庁舎経験者（※様式 F-9 の記載） 管理技術者とは別に照査技術者を配置（※様式 F-9 の記載）
2 事業 のマネジ メント（10 点）	マネジメ ント （様式 B-1）	<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたる事業のマネジメ ントについて具体的かつ積極 的な提案がなされているか。 	<p>【長期にわたる事業のマネジメ ント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設企業 A と維持管理企業 C（A のグループ企業）が密に連携したマネジメ ントを実施 全国的な実績と地域性の両輪で多様性・経済性・品質に優れた事業推進を実施（施設整備におい て市内協力企業の意見を取り入れる、維持管理において現場業務を地元在所縁ある企業が行う） <p>【モニタリング実施メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> より細分化したセルフモニタリングでハード・ソフト両面の品質向上を実施（施設整備期間は BIM を活 用した検証、維持管理期間はハード・ソフト面のモニタリングで常時スパイラルアップを可能とする体制な ど） 施設利用者モニタリングの実施で生の声をタイムリーに業務へ反映（アンケート BOX の常時設置、ア ンケート結果の共有など） <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化に伴う市民ニーズに対応する研修メニューとマニュアル更新を継続（※研修メニュー例の提 案あり） 発災時基幹施設として必要な支援・対応体制を構築（地震発生時の復旧支援組織の立ち上げ、 一次対応・緊急時対応、警察・消防署との協議や防災・防犯訓練など）
3 施設	配置計画	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内のレベル差への対応 	【施設の配置】

計画（全体）（30点）	（様式 C-1）	<p>も含め、利用者の動線、搬入動線に配慮した施設の配置、構成となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺交通への影響に配慮した車両の動線等の計画となっているか。 ・ 利用者の安全性に配慮した施設・駐車場・駐輪場の配置、動線計画となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶畑に囲まれた配置計画：市民広場は各方面からアクセス可能な、市民に開かれた“オープンな市民交流の場”に ・ 三層低層で使いやすいユニバーサル庁舎：上下移動が少なく、共用部や水回りスペースをコンパクト化。周辺環境への影響を最低限に抑制 ・ エントランスは交差点から距離をとり、周辺交通への影響を抑制 <p>【構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流機能を1階に広場を囲むように配置 ・ 来庁者用駐車場は交流・協働エリアと段差なく接続、歩行者動線と明確に分離 ・ 新庁舎棟はすべての階をブリッジでC棟と接続 ・ 市民広場に面して執行部諸室や議会を配置（災害時に広場の活動が見える） <p>【動線計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点からできるだけ離して駐車場入口を計画、渋滞を緩和 ・ 見通しの良い場所に駐輪場を計画（接触事故防止） ・ 新庁舎棟とC棟のそれぞれにフラットに接続する駐車場を設ける。東ゲート、西ゲートそれぞれに駐車管制を計画（※様式 F-10 の記載） ・ 約2mの高低差はすべてスロープでアクセス
	デザイン、景観への配慮（様式 C-2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎としてふさわしい、利用者にとって親しみやすい空間構成、デザインとなっているか。 ・ 周辺の景観との調和への十分な配慮がなされているか。 	<p>【空間構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央エリアに配置した来庁者用のEV・階段コア ・ 「来庁者動線」「職員動線」の交錯に配慮 ・ 市民協働棟はスロープにステップフロアを組み合わせることで、活動の場をつくりながら新庁舎棟と既存C棟の高低差を繋ぐ <p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民広場に面した部分は間口の広い開放感ある空間 ・ 新庁舎棟と市民協働棟にピロティや庇状の軒下空間を設ける（雨天時のアクセス、車寄せ・バス停の設置）

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民協働棟は木調の勾配天井により温かみのある空間に ・ 議場の天井は茶畑をイメージしたヴォールト天井とし、ハイサイドライトから自然光を取り込む <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の建築に溶け込むように、高さは約 16m に抑える ・ 屋根を有機的な曲線の造形に（茶畑モチーフ） ・ 新庁舎棟は周囲の建物から 20m 以上（北側は 40m 以上）の離隔を確保 ・ 新庁舎棟の外壁は周囲と調和する落ち着いた色調（白系基調） ・ 市民協働棟はガラス張りの開放的な外観
4 地域 貢献（30 点）	地域企業・人材 の活用 （様式 D-1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内企業への発注を積極的に行う提案となっているか。 ・ 市内企業を通じた資材発注、市内の人材活用がなされているか。 	<p>【市内企業への発注、資材発注】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市、観光協会、商工会と連携した「市内事業者活用ワーキング」を組成し、情報共有 ・ 地域貢献責任者、地域貢献アドバイザー（市出身営業担当）を選任し、市内生産品、労務、資材等活用、PR 方法を検討 ・ 資機材調達は市内企業からの調達を最優先（※協議済企業名の記載あり） ・ 物品・サービス（弁当や備品、燃料、タクシー利用、宿泊等）は市内企業から幅広く調達（※協議済企業名の記載あり） <p>【人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間中の事務補助員や交通誘導員は市内在住者を優先して採用 ・ 維持管理運営期間中の定期清掃は市内企業が担当、警備員・オペレーター等も市内人材を積極的に採用
	地域への貢献 （様式 D-1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティへの貢献等、地域の活性化に資する積極的な提案がなされているか。 	<p>【地域コミュニティへの貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣向けのワンストップ窓口を設け、現場仮囲いに「いるティーポスト」を設置 ・ 現場仮囲いにデジタルサイネージ、現場のぞき窓を設置。「現場ホームページ」の開設、かわら版の発行、建設記録 DVD 制作等による情報公開 <p>【地域の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設重機試乗体験などを行う「現場見学会」、仮囲いペインティング & 絵画展示会、免震体験会、

			<p>小中学校への出前授業など現場イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場の飲み物に狭山茶を採用、建設企業 A 社員組合や現場関係者による御茶摘み体験の開催 <p>【地域貢献策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の祭事・イベントへの協賛・協力、「入間市民大学」、市内 NPO 法人への協力 グループネットワークを活用した入間市の PR 活動（本支店や社報での入間市 PR など） 児童登下校時の見回り等、地域活動への参加、周辺道路の一斉清掃 建設工事中の防災拠点機能の整備（防災用品の備蓄、災害時の復旧活動、一時退避場所の提供）
5 交流・協働（20点）	交流・協働の取組（様式 E-1）	<ul style="list-style-type: none"> 交流・協働の推進に資する施設整備、管理運営上の工夫がなされているか。 市民協働棟や広場等を活用した交流等について積極的な提案があるか。 	<p>【交流・協働に資する施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働棟は、市民利用できる会議室機能を集約し、様々な活動空間を持つ「ステップ・プラザ」と連続して計画 「ステップ・プラザ」は交流や展示・発表の場（段差ごとに活動空間を配置）、会議室は創作活動や学習の場、「コミュニティ・ラウンジ」は講演やワークショップの場とする ガラス張りのオープンな設えの会議室、展示スペースなど、市民と行政の交流を促す仕組みを設ける 茶畑テラスやお茶の小径に階段状のベンチや子どもの遊び場、東屋などの交流空間を設ける 庁舎中央に売店を配置し、どこからでもアクセスがしやすい、利便性に配慮した計画とする（※様式 F-14 の記載） <p>【管理運営上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民広場に市民協働棟に面してキッチンカーのスペースを確保 市民協働棟の単独利用、新庁舎等までの拡張利用の 2 つのセキュリティラインの設定
6 施設整備（90点）	災害（様式 F-1、様式 F-9～14）	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応について、積極的な提案がなされているか。 建物の耐震性、避難路の確保等について考慮している 	<p>【災害発生時の施設機能の維持計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市長室や危機管理課と連携する災害対策本部（オペレーションルーム） 市長室やオペレーションルーム等から市民広場（防災広場）での支援活動を目視で確認・把握 2 回線受電や 72 時間運転可能な燃料を確保した非常用発電機 電気室やサーバー室など重要設備室は上階に設置

		<p>か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民広場（防災広場）で消防・警察・自衛隊などの支援、ボランティアなどの活動を連携して実施 ・ 帰宅困難者の一時退避所は市民協働棟を中心とした 1 階に確保 <p>【建物の耐震性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎棟（免震構造）は、地震計により建物の揺れを常時計測し、「建物の耐震安全性」と「建物の継続利用可否」を即座に判断できるシステムを導入 ・ 市民協働棟は C 棟と一体的な構造とし、耐震安全性Ⅱ類を確保 ・ 天井材は耐震化、壁とのクリアランスを確保し崩落を防止。内装材は不燃材を基本 <p>【避難路の確保等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な位置に避難階段を設置、階段室内の入口部分や踊り場のスペースを十分に確保（車椅子使用者の待機スペース） ・ 複数の出入口の設置 ・ わかりやすいサイン計画による安全な避難誘導 ・ 防災指導・防災イベントの開催 ・ 市民広場は災害時臨時ヘリポートが設置できる仕様とする
<p>環境 （様式 F-2、 （様式 F-9～ 14））</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策、省エネルギー対策等、具体的かつ積極的な提案がなされているか。 	<p>【地球温暖化対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「カーボン・ニュートラル」「ウェルネス」「レジリエンス」「フレキシブル」の 4 つの視点で環境性能を実現 ・ 市民協働棟の庇は夏季の日射を遮り、冬季は室内の奥まで日射を取り込める角度とする ・ 茶畑をはじめとした在来種の緑化によるヒートアイランド現象の抑制 ・ 中間期における自然通風利用の促進 ・ トイレ等は人感センサーによる照明制御 <p>【省エネルギー対策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎棟は ZEB Ready 認証同等の性能を実現した上で、ウェルネスや知的生産性とのバランスを考慮し、さらなる省エネ化も検討 ・ 竣工後もエネルギー使用量を分析し、効率的な設備運転を行う ・ “オンデマンド環境制御”により、必要な場所に必要な量の空調空気・新鮮外気の提供、換気制御を

		行う <ul style="list-style-type: none"> ・ フロアごとのエネルギー使用状況を職員が確認できるシステムを導入 ・ CABEE 埼玉 S クラスを達成 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工時に粉塵の飛散に配慮、騒音・振動を抑える重機の採用（※様式 F-9 の記載） ・ 解体廃材を雨水浸透施設として再利用（※様式 F-10 の記載）
利用者配慮 （様式 F-3、 （様式 F-9～ 14））	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー・ユニバーサルデザインについて、具体的かつ積極的な提案がなされているか。 ・ 来庁者の快適性、利便性、プライバシーの確保等の観点から、具体的かつ積極的な提案がなされているか。 ・ 防犯対策について、具体的かつ十分な提案がなされているか。 	【バリアフリー・ユニバーサルデザイン】 <ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルでわかりやすい平面計画 ・ C 棟と新庁舎棟は各階連絡通路（スロープ）で接続 ・ 視認性の高いピクトデザイン、色弱者にも見やすいサイン ・ デジタルサイネージによる多言語表記 ・ 五感を育むウェルネスな協働スペース（茶葉の美しい緑色と香りによるリラックス効果、柔らかな自然採光、木を感じる居心地の良い仕上げ） 【来庁者の快適性、利便性、プライバシーの確保】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 天井高が高く、快適なラウンジ ・ 自動交付機等からなるデジタル窓口をエントランスの分かりやすい位置に設置 ・ 相談室は人目につみにくい位置に配置。相談内容に応じた設えとする 【防犯対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ死角をつくらぬよう防犯カメラや緊急通報装置等を設置 ・ EV 内やトイレにインターホンや緊急呼び出しボタンを設置 ・ 部課内の打合せや休憩など、職員のプライバシーを確保（サポートエリア） ・ 外部からの入退出口は IC カード認証システム、サーバー室は IC カードと指紋認証の併用
ライフサイクルコストの低減 （様式 F-4、	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフサイクルコストの低減についての積極的な提案がなされているか。 	【ライフサイクルコストの低減】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下躯体の存置、矩形の合理的な建物計画、免震ピットを利用した雑用水槽、消火水槽、改修時に発生した石礫の活用等による建設費低減

<p>(様式 F-9 ~ 14))</p>	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の低減に向けた積極的な提案がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存 C 棟の梁を利用して市民協働棟の屋根をかけ、新設柱を最小限とすることで建築コストを縮減 (※様式 F-14 の記載) 躯体の長寿命化、高耐久性の外装材やエコマテリアル材料の採用等による建物の長寿命化、更新性の高い材料や更新スペースの確保による改修・修繕費低減 維持管理しやすい内装材、ロングスパン構造による免震装置に係る維持管理費用の削減、新庁舎棟を 3 層とすることによるメンテナンス費用の縮減による維持管理費低減 <p>【光熱水費の低減】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部熱負荷を抑え、空調負荷を低減する外皮計画 (彫の深い開口部、Low-E ガラス、外壁断熱 50 mm) 空調：常時利用する諸室は中央熱源空調方式、随時利用する諸室は個別分散高効率ヒートポンプ空調方式を採用。外調機は CO2 制御により外気導入量を制御 照明：すべて LED 照明器具。トイレ等は人感センサー制御 給湯：個々に電気温水器を設置し、一次エネルギー消費量を削減 換気：駐車場・トイレなどの換気ファンにはインバータ制御を採用し、必要適正量に応じた換気 昇降機：VVVF インバータ制御方式 + ギヤレス巻上機により、無駄のないスムーズな加速・減速を行い、消費電力を低減 給水量：節水型機器をトイレ洗浄水等に使用し、浄水利用量を削減 BEMS：データをリアルタイムで分析し、最適な運用設定 エネルギーマネジメント：PDCA サイクルで省エネルギー化を支援
<p>DX (様式 F-5 、 (様式 F-9 ~ 14))</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「入間市 DX ビジョン」に基づいた積極的な提案がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 床面積を約 16% 縮減したコンパクトな計画 (ロングスパン低層化によるレントブル比の向上、フリーアドレス化と DX による文書の電子化) DX の活用による多様な市民サービスが可能な窓口エリア (ワンストップ窓口、総合案内 (AI + コンシェルジュ)、相談ラウンジ (WEB 予約可能な専門相談、タブレットを活用した対面サービス)、電子端末によるデジタル総合窓口)
<p>スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間の短縮、早期の供 	<p>【スケジュール遅延防止方策】</p>

	<p>(様式 F-6-1、F-6-2、(様式 F-9~14))</p>	<p>用開始に関する優れた提案があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールレベルアラームを用いたレベル判断と遅延回復方策の策定 ・ 着工前に物決め検討を行う「フロントローディング（仕様決定を前倒しする手法）」を実施 ・ 「設計確定工程表」や「もの決め工程表」の作成・活用（進捗の共有） ・ 建設企業 A 独自の検査ツールと BIM を活用した品質管理 <p>【ローリング計画見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ローリング計画の見直しにより、令和 9 年 4 月全館開庁、明確な動線分離、施工中のヤード確保が可能。建物出入口の仮設対応が不要 ・ C 棟は 4 階空きフロア（新庁舎棟に移転）を活用しながら改修を計画。C 棟改修と A・B 棟解体を同時施工し、その後市民協働棟と外構工事を施工（※様式 F-9 の記載） <p>【設計業務計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「見える化工程表」の作成、進捗管理 ・ BIM による設計施工が連携した合理的な検討・作図と検証活用 ・ 工程計画書において市民ワークショップ、入間ミーティング、ユニバーサルデザインワークショップ、執務環境ワークショップを計画
	<p>フレキシビリティ (様式 F-7、 (様式 F-9 ~ 14))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の用途変更を見据えた庁舎のフレキシビリティ確保について、積極的な提案がなされているか。 	<p>【更新性（自由度）の高い庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 14m ロングスパンを採用し、将来の変化に柔軟に対応 ・ 床吹き出し空調、将来の配線の増強も容易な高さ 300 mm の OA フロア ・ 均斉度の高い照明配置 ・ モジュール化された空調と電源供給 <p>【拡張利用が可能な市民広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来庁者駐車場（西）を市民広場に隣接して配置し、スロープで接続。一体利用の設営・運営が可能 ・ 市民広場の北側は、平常時はキッチンカーのスペース、イベント時は仮設ステージの設置場所。階段状のスペースは平常時は団らんのスペース、イベント時は段床の観覧席 ・ 将来の窓口縮小に対応しやすいレイアウト（市民協働スペースに転用可能な什器の選定、市民広

			場と一体で使える開放性の高い建具の採用等)
	改修提案 (様式 F-8、 (様式 F-9 ~ 14))	<ul style="list-style-type: none"> ・ C棟の改修について、付加価値のある提案がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年劣化した仕上材の更新 ・ 執務スペースのフリーアドレス化 (OAフロア+タイルカーペット) ・ 一部の壁を撤去して新庁舎棟と接続。あわせて廊下の配置を変更 ・ C棟1階トイレを完全ドライ化、高齢者に優しく使いやすいトイレに改修 ・ 電気設備：デジタル化に対応可能な電気設備の改修。受変電設備・直流電源設備、非常用発電設備、分電盤等、執務室以外の照明・通信設備機器は既存を継続利用 ・ 空調設備：空調・換気性能を維持するための更新。熱源機器、空調ダクト、換気機器、自動制御設備は既存を継続利用 ・ 給排水衛生設備：新庁舎棟から給水する方式に変更。1階トイレを除く衛生陶器、既存水回り機器、配管等、消火機器及び配管類は既存継続利用
7 維持 管理・運 営 (50 点)	ライフサイクルコス トの低減 (様式 G-2、 (様式 G-1))	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフサイクルコストの低減に配慮しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理企業が施設計画検討に参画し、維持管理視点での意見をフィードバックすることでメンテナンスの費用縮減や効率化を図る ・ 建設企業 A・維持管理会社 C が開発した長期修繕策定システム、施設管理支援システム、建物劣化診断サービスを活用したサービスを提供 ・ 運営期間中、各種点検記録・不具合の発生度合い等を総合的に勘案し、事業期間中に 3 回の劣化診断を実施、修繕計画を作成 (見直し)
	維持管理・修繕 計画 (様式 G-3-1、 G-3-2、(様式 G-1))	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の機能を維持するために、妥当性のある維持管理計画を提案しているか。 ・ 施設の機能を維持するために、適切なタイミングで、適切な修繕が計画されているか。 	<p>【業務の実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員不在時などの有事の際は維持管理企業 C が保有する 24 時間 365 日稼働するコールセンターが対応 ・ 全施設配属職員に個人情報保護法や情報セキュリティ研修を実施 ・ 2社のダブルチェック体制による確実な日常保守の実施 <p>【維持管理業務の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物や建築設備の保守点検業務：法定点検の他、予防保全・長寿命化に必要な任意点検を実施

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽管理業務：適切な管理計画により、美観維持向上を目指す。消毒作業においては周辺環境に配慮 ・ 清掃業務：有資格者が定期的に業務品質インスペクションを行う。医療関連サービスマーク認定事業者としてのノウハウを活かし、感染症対策を徹底 ・ 警備業務：定時巡回に加え、課題発生時の臨時巡回を実施。有資格者が的確に現場を監理監督。警備業務の一環として、庁舎内・駐車場・駐輪場の動線を一元管理 ・ 修繕業務：過去の市庁舎の小修繕費用の範囲で効率的な修繕を提案（年間 600 万円（税抜）以内）。長期修繕計画は、市から引き継がれた修繕計画などをもとに、事業期間内に劣化診断を 3 回実施し作成
	開庁準備・運営 （様式 G-4、 （様式 G-1））	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開庁準備、運営において特筆すべき提案があるか。 	<p>【什器備品の調達支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者視点に立った、快適で機能性に優れた什器の選定（窓口空間はユニバーサルデザイン、執務空間は可変性があり強靱でメンテナンスしやすい機能的な什器の採用。「入間市 DX ビジョン」の推進をサポートできる家具やツールの提案など） ・ 既存什器備品の再利用における経済性を高める提案（既存備品を 3 段階で評価、購入・移転・廃棄の各コストを比較検討。イニシャルコスト、処分コストを削減可能な提案を行う） <p>【移転支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移転費用の削減と職員負担の軽減をバランスよく両立した「最適な」移転計画（搬入動線や物量等の条件を変えた綿密なシミュレーションの実施、リスクと解決策の管理など） <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかりやすく・またせない・つながる」窓口案内の実践 ・ 配置前研修の実施（※研修内容の提案あり） ・ 接遇レベルの向上（ホスピタリティ、専門部署によるインスペクションや各種研修の充実による管理レベルの維持向上、翻訳機や筆談用器具の設置による平等に開かれた窓口など） ・ 電話受付・窓口案内業務の専門部署による配置スタッフへの指導、働きやすい環境整備
8 任意	民間収益事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業としての独自性・ 	※事業者募集等の手伝い、橋渡し役としてのサポートの提案

事業（20点）	その他提案事業（様式 H-1）	<p>積極性、事業全体に対する付加価値のある事業内容となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の実現可能性、およびその根拠が示されているか。 ・ 長期間にわたり、安定的かつ持続的に事業運営を行う体制となっているか。 	<p>【キッチンカー誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な出店スペースを確保し、キッチンカーの誘致しやすさを高める ・ 商工会と連携し、商工会加盟店を中心とした市内事業者以案内を予定（すでに出店を検討している事業者あり） ・ 行政財産使用料は事業者の出店意欲向上のため無償とすることを提案 <p>【弁当販売誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンカー同様、商工会加盟店を中心とした市内事業者以案内を予定 ・ 行政財産使用料は事業者の出店意欲向上のため無償とすることを提案 <p>【その他】（※地域貢献と同内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の祭事・イベントへの協力 ・ 「市内人材」の活用（清掃員や警備員、オペレーター等での雇用） ・ 市内 NPO 法人への協力（イベントへの講師派遣等）
9 その他（25点）	特筆すべき提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他特筆すべき提案がなされているか。 ・ 施設コンセプトの具現化に資するため、建築、空間形成、維持管理・運営を通じて「人間らしさ」を実現できる提案がなされているか。 	<p>（※「特筆すべき提案」については各委員にてご判断いただく）</p> <p>【「人間らしさ」に係る提案】（様式 F-9～F-10 の記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階はガラス主体の視線の通る設えとし、茶畑に囲まれた広場の活動が見通せる、入間市ならではの風景をつくる ・ 茶畑をモチーフにした緩やかな曲線の大屋根とする ・ 市民協働棟は内外一体のデザインとし、木のぬくもりが外部からも感じられ、新庁舎の顔にふさわしい景観とする ・ 茶畑の風景を南側敷地外縁部を中心に約 900 m²の広さで整備 <ul style="list-style-type: none"> － 茶畑とウッドデッキ状のテラスを様々なパターンで配置 － 大きな茶畑の中に設けた小径に、静かに落ち着けるスペース（東屋やベンチなど）を配置 ・ 駐車場には市民広場に面して桜並木を整備し、慣れ親しんだ桜のある風景を継承 ・ 入間市の植生に配慮した植栽計画